

インフォメーション

シンポジウム

戦後北海道開発の軌跡と展望－開発再生の政策学

現在、北海道では道州制特区法が施行され、また、国も道も来年度からスタートする次期長期計画の策定作業に取り組んでいる。しかしながら、こうした作業の前提に不可欠な戦後北海道開発政策の検証は必ずしも十分に行われているとはいえない。一方、地方財政の悪化や、環境問題の高まり、市場原理重視の風潮も強まっている。このシンポジウムでは、6月に刊行予定の『戦後北海道開発の軌跡－対談と年表でふりかえる開発政策』にもとづきながら、戦後の北海道の開発政策を歴史的に評価し、今後のあるべき開発政策を探る。

日時 平成19年6月30日(土) 13:30～16:00 (13時開場)

場所 北海道大学クラーク会館講堂
(札幌市北区北8条西8丁目 北海道大学構内)

入場料 無 料 (事前申し込みは不要です)
※ 駐車場がございませんので公共交通機関をご利用下さい。

参加者 パネリスト

小磯 修二 (釧路公立大学教授、地域経済研究センター長)

栢原 英郎 (北海道大学公共政策大学院特任教授)

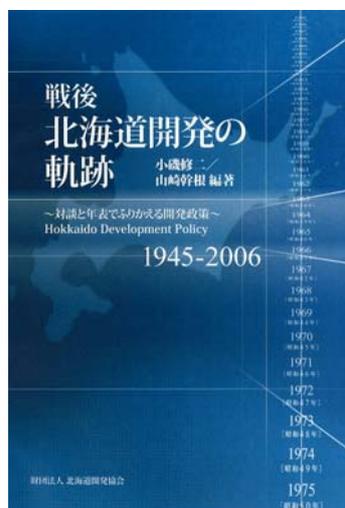
山崎 幹根 (北海道大学公共政策大学院教授)

コーディネーター

関口麻奈美 (プランニング・メッシュ代表)

主催 北海道大学公共政策大学院 ・ 釧路公立大学地域経済研究センター

後援 (財)北海道開発協会



平成19年6月25日発行予定

お問い合わせ

北海道大学公共政策大学院

TEL 011-706-4716

FAX 011-706-4948

<http://www.hops.hokudai.ac.jp>